

川崎市国際交流センターで行っているイベント・講座案内

詳しくは、<http://www.kian.or.jp/josei.html> または、川崎市国際交流協会へお問い合わせください。

イベント

2012年度 後期語学講座の申し込み受付中です!!

受講者
募集中

2012年10月より各講座を開始します。

◎会場：川崎市国際交流センター・研修室

◎定員：各クラス25名(定員を超えた場合は抽選)

◎申込方法：往復はがき(1枚につき1名、1講座)に

①講座名、②受講者名(フリガナ)、③郵便番号・住所、④電話番号を記入の上、申し込んでください。返信はがきにも住所・氏名をご記入ください。

◎〆切：9月14日(金)当日消印有効

講座名	期間・曜日・時間	講師	受講料(税込)
ハンゲル入門 (韓国・朝鮮語)	10月20日～3月9日 毎週土曜日(全18回) 13:00～14:30	李 泰文(イ テムン) 慶応義塾大学講師	27,000円 テキスト代別
イタリア語入門	10月19日～1月25日 毎週金曜日(全12回) 17:15～18:45	フランチェスコ・ディオダート 共立女子大学講師	18,000円 テキスト代別
初級英会話A	10月19日～3月8日 毎週金曜日(全18回) 10:30～12:00	スティーブ・リア 玉川大学准教授	27,000円 テキスト代別
初級英会話B	10月20日～3月9日 毎週土曜日(全18回) 10:30～12:00	スティーブ・リア 玉川大学准教授	27,000円 テキスト代別
中級英会話A	10月19日～3月8日 毎週金曜日(全18回) 19:00～20:30	ジョン・プラスキー 東京女子大学講師	27,000円 テキスト代別
中級英会話B	10月20日～3月9日 毎週土曜日(全18回) 17:00～18:30	トレバー・モレイ フェリス学院大学講師	27,000円 テキスト代別
英語でディスカッション (英検準2級程度)	10月10日～1月23日 毎週水曜日(全12回) 19:00～20:30	ルース・ファロン 慶応義塾大学講師	18,000円 テキスト代別
中国語入門	10月20日～3月9日 毎週土曜日(全18回) 15:00～16:30	高 偉建(こう いけん) 慶応義塾大学講師	27,000円 テキスト代別

申請受付 民間交流団体補助対象事業

市内で国際交流を行う民間団体を支援するための9月～3月分の補助金対象事業の申請を受け付けています。

◎申請締切：9月28日(金)16時まで

◎申請書類：協会ホームページからダウンロードできます。

<http://www.kian.or.jp/josei.html>

- 補助金交付申請書 PDF Word
- 事業計画書
- 予算書収入
- 予算書支出



詳しくは、「協会の国際交流事業への助成制度」から「民間交流団体補助金交付事業」をどうぞ

講座 日本語による国際理解講座 ～インド・中国編～

今年は、アジアの大国である中国とインドにスポットを当てます。それぞれの国の出身者が講師となり、文化や社会について写真や映像を交えながら、楽しく紹介します。

第1回 10月6日(土)「インドの多様な結婚式」

講師：プラティマ ベヘラ(オディサ コミュニティ ジャパン、外国語指導助手ALT)

第2回 10月20日(土)「中国琵琶と私」(琵琶演奏もあり!!)

講師：王天舒(協会登録ボランティア、専修大学在学中)

◎場所：川崎市国際交流センター

◎時間：午後2時～3時半 ◎定員：各30名(先着順)

◎参加費：2回で1,000円(1回のみ申込は700円)(事前に郵便振込もしくは直接払い)

◎申込：Eメール、FAX、直接来館にて、①講座名：日本語による国際理解講座(希望日)、

②氏名、③住所、④電話番号、⑤FAX番号、⑥メールアドレスをお知らせください。

受付時間：月～土 10時～16時



川崎で頑張っている 民間団体紹介⑬

NPO法人 日本伝統文化福祉振興協会

～中原街道の歴史を偲び、江戸時代を体感する「中原街道時代まつり」～

私たちは、日本の民族衣裳と伝統舞踊など伝統芸術の普及や振興を通じて、人々の健康や生きがいを増進することを目的に、イベントやシンポジウムを開催しています。最大のイベントは毎年恒例の「中原街道まつり」で、今年で12回目を迎え、5月13日(日)国際交流センターで開催されました。

中原街道は、相州街道・小杉街道とも呼ばれ、徳川家康の江戸入府の経路でした。中原(平塚市)、小杉(川崎市)には將軍の御殿が建てられ、鷹狩りに用いられました。また、徳川將軍に献上された「成瀬酢」は、中原で醸造され、中原街道を通って運搬されたそうです。中原

街道には、皆さんが知らない歴史がまだまだ潜んでいるかもしれません。

近年は、「鷹狩り道中」(第10回)、「御酢壺道中」(第11回)と、歴史的意義を「まつり」で表現し、放鷹術の実演や華やかな着物のおいらん道中で参加の皆様楽しんでいただいています。

来年の「まつり」はどのように？皆様のご参加をお待ちしております。

(文：NPO法人 日本伝統文化福祉振興協会 理事長 高島 厚子さん)



放鷹術

おいらん道中